

北九州市制50周年記念事業として2月23日（土）に北九州国際会議場にて「生涯現役夢追いサミット」が開催されました。

「明日から役立つ先進活動の見本市」と銘打ったパネル展示・分科会では、福岡県内をはじめ富山・静岡・大阪・山口・長崎・熊本など全国各地から集まった団体による「人材育成」「高齢者支援」「まちおこし」「国際交流」「子育て支援」などの活発な活動発表がありました。その中で、「NPO 法人静岡団塊創業塾」からは“中高年を元気にする”を活動理念として“団塊サミット”“定期交流会”“磨き塾”“熟年セミナー”などのイベントを通して中高年が生涯現役で社会参加できる仕組みや仕掛けを提供する事業の報告があり、「NPO 法人ロシナンテス」からはアフリカスーダンでの“地域での生活向上事業”“母子保健事業”“スポーツ事業”などの報告がありました。大阪から参加の「SA 門真の会」は施設訪問、世代間交流、地域交流、歌体操教室の開催などの活動を通して、「寝たきりにしない、させない」をモットーに、高齢者が高齢者と共に楽しみながら生きていく社会を目指している取り組みが紹介され、質疑応答の時間には会場の参加者と一緒に歌体操が披露されました。来年、国体が開催される長崎から参加の「もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会」は、平成15年に開催されたお手玉全国大会で、子どもからお年寄りまで全ての人がお手玉遊びを通じて笑顔になれていることに感銘を受け、会の立ち上げに至った思いを聞くことができました。福岡市博多区の博多百年町屋を拠点にしている「集団力学研究所」は、コミュニティの中の研究所として、地域づくりやコミュニティ活性化に向けて実践的な学問を通して「ヒトをその気にさせる」取り組みが紹介されました。

「生涯現役・夢追い人による地域貢献活動への期待」と題した東京農業大学教授の木村俊昭氏の記念講演や、5人のシンポジストによるシンポジウムがあり、その中で折尾ともゆかりのある左京泰明氏（NPO 法人シブヤ大学学長）からは校舎を持たずに街全体を「教室」に見立て、市民同士がお互いに「街の先生」として教え学び合うユニークな大学「シブヤ大学」の取り組みを聞くことができました。

昨年5月に北九州市・北九州市社会福祉協議会・夢追塾同窓会の3者による「夢追いサミット実行委員会」がスタートし、実に20回以上の会議を経て当日を迎えることができました。11人の実行委員の一人として今回の「夢追いサミット」に関わることで多くのことを学び、貴重な経験をすることができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

貞光文江

これからの超高齢社会の様々な課題をどのようにしたら解決できるのか、実際に地域で活動していることなどが紹介されていました。

「住み慣れた街で最後まで暮らしたい」という要望に関しても、在宅で最期を迎えられるように「在宅ホスピスのボランティア」の活動から、買い物弱者支援活動、支え合いの地域づくり、居場所づくり、コミュニティカフェ等々、関係するパネル展示が多々ありました。

それぞれの活動を最大限に活かすためにも、もっと多くの方々にこれらの活動を知ってもらい、いかにネットワークを作っていくのかが、これからの課題だと感じました。

高齢者自身が健康で、夢の実現へ向けて生涯現役で活躍することが魅力のある老後になり、超少子高齢社会でも安心して暮らせるようになりますので、「夢追塾」のような活動が益々重要になってくると思いました。

蒔田加代